



シリーズ199

高めよう！ 人権意識

心のかけ橋

問 人権推進課
(☎928-1006)

誰もが暮らしやすい
まちづくり

生活を豊かにする ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、年齢・性別・国籍・身体状況など人々がもつさまざまな個性や違いに関わらず、誰もが利用しやすく暮らしやすい社会となるように、まちづくりやものづくり、仕組みづくりなどをしていることという考えです。

例えば、自動ドアは車いすを使っている人だけでなく、荷物を持っている人など全ての人にとって便利です。また、ピクトグラム（絵文字）は、遠い場所からでも見えやすく、外国人や細かい文字が読みにくい人にとっても分かりやすいように表示してあります。

ユニバーサルデザインには、次の7つの原則があります。



▲ピクトグラム

ユニバーサルデザイン7原則	身近な例
1. 誰でも公平に利用できる	エレベーターや自動ドアなど
2. 使う上で自由度が高い	高さが調節できるテーブルなど
3. 使い方が簡単ですぐ分かる	ボタンが大きいリモコンなど
4. 必要な情報がすぐ理解できる	絵文字や多言語表示の看板など
5. 間違えても危険につながらない	使用中に開けたら止まる電子レンジなど
6. 少ない力でも楽に使える	弱い力でも操作できるレバー式蛇口など
7. 使いやすい空間や大きさがある	ゆったりとした広さの多目的トイレなど

ユニバーサルデザインを 生かすために

建物や道路などをユニバーサルデ

ザインにすることで生活は便利になります。しかし、ハード面がいくら使いやすくなっても、お互いの違いや個性に気付き、理解して受け入れる気持ち「心のユニバーサルデザイン」がなければ、本当の意味でのユニバーサルデザインは実現できません。

思いやりを行動に

誰もが暮らしやすいまちをめざして、普段から交流を深めるとともに、ローズマインド（思いやり・優しさ・助け合いの心）を育み、その思いを行動に移すことが大切です。

一人ひとりが自分らしさを十分に発揮できる社会に向けて、私たちができるユニバーサルデザインについて考えてみましょう。



人権は 一人ひとりの 宝物